

「戦争中の国民生活」の関係資料を利用した活動

1ねらい

満州事変、日中戦争、第二次世界大戦などの戦争の経緯や国民や戦場となった地域の人々の生活の様子などを調べ、戦争の実態や平和の意義について考える。そのために体験者からの聞き取りや博物館に出向き、地図、年表、写真、手記、道具などの具体的な展示資料を見学したり、学芸員の説明を聞いたりして理解を深めていく。

2指導計画

社会科「長く続いた戦争と人々の暮らし」全7時間

単元計画

- 第1・2時（本時） **歴史博物館を見学しよう** 岐阜市歴史博物館を見学し戦争中の岐阜市の様子や国民の生活の様子を知り、本単元の学習問題をつくる。
- 第3時 **中国との戦争が広がる** 年表や歴史地図をもとに中国との戦争に至った背景やその戦争がどのような戦争であったかをとらえることができる。
- 第4時 **世界に広がった戦争** 歴史地図や写真資料などをもとに戦争が世界へ拡大していった経緯をとらえる。
- 第5時 **戦争中の国民生活を調べる** 当時の写真や手記をもとに国民の生活についてとらえることができる。
- 第6時 **空襲で日本各地の都市が焼かれる** 岐阜市の空襲の被害を調べるとともに原爆投下によって大きな被害を受けて、戦争が終了したことをとらえることができる。
- 第7時 **戦争の終わりをまとめる** 戦争の経緯と平和の意義について考え、自分なりの考えを持つことができる。

3事前打ち合わせ

①電話で団体利用の予約と見学の内容について打ち合わせをする。

見学の日時、学校名、学年、児童数、見学内容、説明内容、引率者数を伝える

②観覧料減免申請書を提出する。（同じものを2部）

※打ち合わせは、電話で済ませることもできるが、事前に下見をしておくとうい。

主体的に見学できるように、事前学習を綿密に行う。

4学習場所 岐阜市歴史博物館 講堂及び総合展示室